

# 高段者審査会

居合道・審査委員長 中田 武太

武徳殿を覆う木々の若葉は萌黄色から徐々に深みを増しつつ、どこまでも澄み切った空の碧さに映え、陽春の季だと言うのに肌寒さを感じずる風が武徳殿内を吹き抜けて、それが却って審査に相応しい凛とした緊張感のある雰囲気醸し出していました。

最初に審査員が審査基準の統一化を図るための協議を行い、項目ごとに審査が統一されるように打ち合わせをしました。受験者に対しては審査項目を正確に伝達し、堂々と胸を張って臨むよう激励し審査会に入りました。今回受験者は居合道六名、空手・古武道七名でした。静寂の武徳殿を独り占めにした受験者は、審査員を前に一名ずつ最初から演武終了まで緊張感のなか、実力一〇〇%を発揮出し切ったかは演武終了後の反省によりますが、自分一人だけの演武を果たせたことに、武徳殿に浸みこんだ先人の汗を感じたことだったろうと想像致しました。結果は、少数の受験者に指摘事項がありました。暫時審査員会を行い指摘事項について協議しました。予め統一化協議の成果で意見交換の末全員合格の上、濱田先生から合格通知書が授与され審査会を終えました。

今回は余裕のある審査会が出来たと思っています。

